

令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名： 千葉県

農業委員会名： 香取市農業委員会

I 農業委員会の状況(6年4月1日現在)

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 4 年 4 月 1 日

任期満了年月日 7 年 3 月 31 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	19
認定農業者	—	16
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	3
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	24	22	128

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	3285
農業経営体数	2718

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	3,305
女性	1,293
40代以下	274

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	312
基本構想水準到達者	109
認定新規就農者	16
農業参入法人	90
集落営農経営	38
特定農業団体	0
集落営農組織	38

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑			計	
		普通畑	樹園地	牧草畑		
耕地面積	7,710	3,380	0	0	0	11,100

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)/(A)	
	11,100	ha	3,342	ha	30.1	%
課題	水田においては、圃場条件の良くない谷津田地域で集積が進まない。 また、全体的に担い手不足が進んでいることから、農地を守るため大規模な農家への集積・集約化を進めるとともに、多様な担い手への集積も図る必要がある。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	9	年度	集積率	40	%
今年度の新規集積面積	300	ha	農地面積(C)	11,100	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	3,642	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	32.8	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③ 実績

今年度の新規集積面積	245	ha	農地面積(F)	11,100	ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	3,587	ha	今年度末の集積率 (H)=(G)/(F)	32.3	%
目標に対する達成状況(H)/(E)	98.5	%			

農業委員会の 点検結果	目標に対する達成状況は、期待どおりの結果を得られた。 なお、目標集積率40%の目標年度を9年度に設定しているが、1年度2%増の集積率を確保できれば、達成となる見込みである。
----------------	---

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況					
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積				
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積			
	556	ha	556	ha	0	ha
数年の傾向として、1号遊休農地面積は横ばいである。 要因として、地域において担い手への集積により解消に至る農地もあるが、担い手不足の地域においては増えていることから、担い手の確保が課題である。						

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	553.0	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	110.6	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	0	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	5.0	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	4.2	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	3.8	%

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	策定していない
-------------------------	---------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.1	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	8月～10月		10月～1月	
1号遊休農地の面積	541.7	ha	うち緑区分の遊休農地	541.7 ha
			うち黄区分の遊休農地	0.0 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	11月～12月		12月～1月	

農業委員会の点検結果	意向調査の結果から、1号遊休農地2,075筆 1,403,873㎡が農地中間管理事業利用を希望
------------	---

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	3年度新規参入者		4年度新規参入者		5年度新規参入者	
	5	経営体	5	経営体	10	経営体
	3.2	ha	5.1	ha	11.4	ha
課題	令和5年度の新規参入者は、前年度対比倍増となっているが、高齢化に伴う離農者が年々増えているため、新規参入や親元からの独立就農を増やすための方策が必要である。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成30年度	平成31年度	令和2年度	平均
	742	627	871	747
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	69.9		ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		0.0	ha
公表URL		(その他の公表方法)	
目標に対する達成状況(B)/(A)		0.0	%
(参考)新規参入者の参入状況		参入経営体数	12 経営体
		取得農地面積	5.1 ha

農業委員会の点検結果	目標を下回る結果となった。
------------	---------------

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	8 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	19 人
		農地利用最適化推進委員の人数	22 人

(2) 活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	2 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
7月～9月	遊休農地の発生防止・解消	①現地確認 ②利用意向調査 ③不明所有者等の探索 ④遊休農地の解消活動
9月～11月	担い手への農地の集積・集約化	①出し手・受け手の意向把握 ②話し合い活動への参加 ③関係機関等の打ち合わせ④「地域計画」の策定推進及び農地中間管理権の設定推進
通年での取組につき、期間設定なし	担い手確保・新規参入の促進	担い手の確保については、認定農業者、大規模経営農家(法人・個人)のほかに、安定的な兼業農家も位置づけ、更に新規参入者の掘り起しを図る。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	2 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の結果
7月～9月	遊休農地の発生防止・解消	①利用意向調査 ②農地中間管理機構へ意向結果の提供 ③農地中間管理機構の活用による遊休農地の是正 ④前年度意向調査に基づく解消実績3.9ha
9月～11月	担い手への農地の集積・集約化	認定農業者を中心とした地域農業の担い手に、農地中間管理権を活用して農地の集積及び集約化を図った。
通年での取組につき、期間設定なし	担い手の確保・新規参入の促進	令和6年度の新規参入は、各担当農業委員の調整により、新規参入者の農地確保が比較的スムーズに進んで農地法第3条許可申請手続きも順調であった。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	2回
---------------	----

開催時期	令和6年9月	相談会名	(仮)香取地域新規参入者交流会
参加者数	15名程度	開催場所	調整中
相談会の内容	農業への新規参入者に対し、関係機関が一体となって支援するため、地域農業への新規参入者の成功事例を学び、情報交換による仲間づくりと就農定着を図っていくことを目的とする。 主催:香取農業事務所		
開催時期	令和6年9月	相談会名	(仮)千葉県農林水産就業相談会
参加者数	200名程度(Web)	開催場所	千葉市内
相談会の内容	千葉県農業を守るため、農業への新規参入を促進し、本県農業を支える人材の育成と多様な担い手の確保・育成に資することを目的とする。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	令和6年11月23日	相談会名	千葉県農林水産就業相談会
参加者数	1人	開催場所	千葉市内
相談会の内容	第一次産業の就業に係る情報提供や個別相談会を会場及びオンラインで開催し、農業への参入を促進し、本県農業を支える多様な担い手の確保・育成に資することを目的に開催された相談会への参加 共催:千葉県、(公社)千葉県園芸協会、(一社)千葉県農業会議		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して、期待通りの結果が得られた。

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	0
目標に対し期待を上回る結果が得られた	8
目標に対して期待どおりの結果が得られた	27
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	6

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入